

## 地域再生計画の新旧対照表

変更後	変更前
<p>4. 地域再生計画の目標</p> <p>(略)</p> <p>しかし、平成16年度末の汚水処理人口普及率は、<u>47.1%</u>で全国平均<u>79.4%</u>、県平均<u>68.9%</u>と比較しても大きく遅れており、早急な整備の促進が必要となっております。</p> <p>(略)</p> <p>(目標1) 汚水処理整備の促進(汚水処理人口普及率を47%から今後<u>5</u>箇年で県平均の平成16年度末<u>69%</u>に向上する)</p> <p>(目標2) 農村地域の過疎、高齢化防止(笹神地区の農家戸数減少割合 <u>16.94%【H12~H17】</u> <u>16.00【H17~H22】</u>)</p> <p>5. 目標を達成するために必要な事業</p> <p>5-1 全体の概要</p> <p>(略)</p> <p>公共下水道の整備(安田地区 平成4年6月12日~平成22年3月31日 京ヶ瀬地区平成8年12月20日~平成<u>22</u>年3月31日 水原地区平成9年1月7日~平成<u>22</u>年3月31日 笹神地区平成8年3月31日~平成<u>22</u>年3月31日 各地区事業認可)については、阿賀野市の旧町村地区の市街地を中心として、市街地沿線地域や周辺部農村地域のさらなる促進を図り、17年度から21年度までには、市街地のほぼ全域の整備完了を目指します。</p>	<p>4. 地域再生計画の目標</p> <p>(略)</p> <p>しかし、平成15年度末の汚水処理人口普及率は、<u>33.2%</u>で全国平均<u>78%</u>、県平均<u>65.5%</u>と比較しても大きく遅れており、早急な整備の促進が必要となっております。</p> <p>(略)</p> <p>(目標1) 汚水処理整備の促進(汚水処理人口普及率を47%から今後<u>3</u>箇年で県平均の平成15年度末<u>66%</u>に向上する)</p> <p>(目標2) 農村地域の過疎、高齢化防止(笹神地区の農家戸数減少割合 <u>10.93%：平成19年予測</u> <u>10.00%</u>)</p> <p>5. 目標を達成するために必要な事業</p> <p>5-1 全体の概要</p> <p>(略)</p> <p>公共下水道の整備(安田地区 平成4年6月12日~平成22年3月31日 京ヶ瀬地区平成8年12月20日~平成<u>20</u>年3月31日 水原地区平成9年1月7日~平成<u>20</u>年3月31日 笹神地区平成8年3月31日~平成<u>20</u>年3月31日 各地区事業認可)については、阿賀野市の旧町村地区の市街地を中心として、市街地沿線地域や周辺部農村地域のさらなる促進を図り、17年度から19年度までには、市街地のほぼ全域の整備完了を目指します。</p>

また、浄化槽の設置については、笹神地区の農山村地域を中心とした河川上流地域の水質保全や生活環境の改善により、農産物の安全確保と過疎、高齢化に悩む地域の若者の定住化・後継者育成をはかり、専業農業戸数の増加と就業人口の減少に歯止めをかけます。

5 - 2 法第4条の特別の措置を適用して行う事業

(略)

[事業区域]

- ・公共下水道 阿賀野市(安田、京ヶ瀬、水原、笹神地区)
- ・浄化槽(個人設置型) 阿賀野市(京ヶ瀬、水原、笹神地区)

[事業期間]

- 公共下水道 平成17年度～平成21年度
- 浄化槽(個人設置型) 平成17年度～平成21年度

[事業費]

公共下水道 事業費 7,154,000千円  
 (うち、交付金 3,605,500千円)  
 単独事業費 1,338,000千円  
 浄化槽(個人設置型)事業費 20,448千円  
 (うち、交付金 6,816千円)

合計 事業費 7,174,448千円  
 (うち、交付金 3,612,316千円)  
 単独事業費 1,338,000千円

[整備量]

- ・公共下水道 200～900mm 70,000m

また、浄化槽の設置については、笹神地区の農山村地域に年間10基の設置を予定して、上流地域の水質保全や生活環境の改善により、農産物の安全確保と過疎、高齢化に悩む地域の若者の定住化・後継者育成をはかり、専業農業戸数の増加と就業人口の減少に歯止めをかけます。

5 - 2 法第4条の特別の措置を適用して行う事業

(略)

[事業区域]

- ・公共下水道 阿賀野市(安田、京ヶ瀬、水原、笹神地区)
- ・浄化槽(個人設置型) 阿賀野市(水原、笹神地区)

[事業期間]

- 公共下水道 平成17年度～平成19年度
- 浄化槽(個人設置型) 平成17年度～平成19年度

[事業費]

公共下水道 事業費 5,780,000千円  
 (うち、交付金 2,890,000千円)  
 単独事業費 975,000千円  
 浄化槽(個人設置型)事業費 16,698千円  
 (うち、交付金 5,566千円)

合計 事業費 5,796,698千円  
 (うち、交付金 2,895,566千円)  
 単独事業費 975,000千円

[整備量]

- ・公共下水道 200～300mm 72,000m

(うち、単独事業 11,200m)

処理場水処理施設 2池

・浄化槽 47基

各施設による新規の処理人口

公共下水道 安田地区 550人 京ヶ瀬地区 3,120人  
水原地区 6,840人 笹神地区 3,000人  
浄化槽(個人設置型)京ヶ瀬地区 22人 水原地区 20人  
笹神地区 130人

6. 計画期間

平成17年度～21年度

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

汚水処理人口普及率の計画目標が確実に達成できるか、年度毎に数値を調査・把握するとともに、計画期間終了後に計画の達成状況を下水道審議会に提示し、必要な審議を行う。

なお、審議会の開催にあたっては、事前に開催日時を市民へ周知し、傍聴可能とするほか、審議内容について、窓口閲覧やホームページへの掲載により公表する。

整備した汚水処理は、適切な維持管理と効率的かつ経済的な運営に努め、地域住民の理解や協力を得るため、十分な説明ときめ細かな対応にこころがけ、環境改善や水質保全による住民サービスの向上をはかる。

・浄化槽 38基

各施設による新規の処理人口

公共下水道 安田地区 410人 京ヶ瀬地区 1,280人  
水原地区 6,100人 笹神地区 1,460人  
浄化槽(個人設置型)水原地区 20人 笹神地区 130人

6. 計画期間

平成17年度～19年度

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

汚水処理人口普及率の計画目標が確実に達成できるか、年度毎に数値を調査・把握して、市民に公表する。

また、計画の進捗状況や達成状況を毎年度開催する、下水道審議会に提示し、評価・検討を行う。

整備した汚水処理は、適切な維持管理と効率的かつ経済的な運営に努め、地域住民の理解や協力を得るため、十分な説明ときめ細かな対応にこころがけ、環境改善や水質保全による住民サービスの向上をはかる。